

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和7年3月3日

事業所名 ジュニアスペース・らいぶ堀川三条

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9		法令遵守し、十分なスペースを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	9		法令に基づき、適切な配置を行っております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	6	どこがバリアなのかをスタッフに周知し対応しています。	施設前の段差など改修が難しい部分もありますが、スタッフが対応を学びソフトウェア部分での対応を強化していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	1	週次ミーティングの開催を徹底し、日々の支援の振り返りと各種目標達成を行います。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9		活動要望の多いプログラムは研修を経て実際に行うようにしています。	評価表に基づくアンケートの他、イベント開催時にもアンケートを実施し保護者のニーズの把握に努めていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9		ホームページに公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	3		第三者評価は現在行えていませんが、今後行えるよう努めていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	1	外部講師を招聘し研修を行っています。	外部研修終了後、参加者がフィードバックを行い、資質向上に努めています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9		サービス計画策定前に保護者アンケートや面談、支援会議を実施しニーズを踏まえ計画作成を行っています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	1	社内で統一したツールを使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		指導員・児童発達支援管理責任者が意見を出し合い、個別・集団に応じたプログラムの立案を行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		外部講師による研修を行いアドバイスを受けております。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9			平日、学休日で支援内容に変化をつけています。今後は更に学休日は季節に応じた外出支援や地域のイベントに参加するなど活動の幅を広げていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	2	保護者面談の上、必要な支援内容から優先順位を付けてサービス計画を作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	2	当日の児童の様子を随時共有しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	1	当日中に支援記録の作成および振り返りを行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		担当者による記録のブレが出ないよう評価の主観性と客観性のバランスがとれるよう研修を行っています。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9		6ヶ月毎にモニタリング・アセスメントを実施し、計画の見直しを行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	9		基本活動を複数組み合わせ、日々の支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	4		送迎時間の調整にミスが生じご迷惑をおかけする場合がございます。今後このような事が内容学校のアプリの仕様の検討など送迎時間のミスを撲滅していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	8	医療ケア児童の受け入れを行っておりません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	3	引き継ぎ書などを頂き情報共有しております。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9		現在対象児童が中学生までであり移行対象者がおりません。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	1		専門機関の実施する研修等には積極的に参加しておりますが、今後より一層連携を深めさせていただけるよう体制を整えてまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	5		保護者様のご意見も伺い慎重に行っていますが、同時にインクルージョンを意識した支援プログラムの作成に努めます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	3		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		送迎時の引継ぎや定期面談時に児童の様子を共有しております。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	2		現在は出来ておりませんが、ペアレントトレーニングができるよう社内研修を行いよりよい助言が出来るように努めています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		契約時に詳細な説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		送迎時やお電話、メール等での相談にも応じ必要ならば面談を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	3		現在も保護者様参観などの際に交流に機会を作っております。今後より参加しやすくなるよう日程や回数を調整していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	1	社内で苦情解決フローを策定し、苦情があった際には迅速な対応を行っています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	1		ホームページに活動実績を掲載しておりますが、まだ不定期ですので定期的に公開できるようにしていきます。
	35	個人情報に十分注意している	9		個人情報に関わる書類、データは規定ののっとり保存しております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		特性に合わせ絵カードなどを使用しております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	8		コロナ禍以降、実施出来ておりませんが、今後イベントなどの交流機会を作っていきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9		マニュアルを策定し、職員間で共有しております。	各マニュアルは整備されておりますが、周知が十分ではありませんでした。ご来所いただいた際にわかるよう掲示していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		法令に基づき、年2回避難訓練を実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		外部研修を受講した職員が内部研修を行い、適切な対応を心掛けております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9		契約時の説明他、必要に応じて支援計画に盛り込んでおります。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	1	契約時保護者様よりアレルギーの有無を聞き取り、対応しております。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	1	支援記録作成時にヒヤリハットがなかったか確認の上記録しております。	ヒヤリハットでの多い事例や緊急度の高い事例などは研修煮で共有し業務改善に努めておりますが、今後より頻度を増やしていきます。